



第24号

2021.4

めぐみの森

社会福祉法人
めぐみ会

<http://www.kcc.or.jp/>



新年度のあいさつ

地域生活サポートセンターらいと

センター長 青木 栄梨華

春暖の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、4月1日付けで地域生活サポートセンターらいとセンター長に就任することとなりました。身の引き締まる思いでおりますが、これまでと変わらず、利用者様に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っております。

地域生活サポートセンターらいとが開所してから、2年が経過致しました。事業を継続することができたのは、ひとえにご利用者やそのご家族の皆様、地域の皆様、相談事業所や行政等関係の方々、そして一緒に働いてくれているヘルパーのご助力があつてのことです。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

これからも「地域の中で頼れる事業所」となるよう努力してまいりますので、新年度も引き続きご指導お願い申し上げます。

末筆ではあります但し冒頭の挨拶とさせていただきます。

入所支援係

かしの木ケアセンターでは入居者に安心して生活いただけるよう、住宅機能強化のため、昨年度は超低床ベッド5台と天井走行型リフト2台を導入致し、介護職員の負担軽減にも繋がっております。2021年度は超低床ベッドの追加と利用者の体格、体形に合わせて安全かつ効率的に対応できるよう床走行型リフトの導入を予定しております。

日中活動に関して昨年度は、コロナ禍でもできることを考えて取り組みました。

ユニットでは小規模で行う活動という強みを活かし、3密を避けてそれぞれ実施してきました。これまで、活動が参加者のニーズに沿ったものとなるよう、新たな内職作業の提供や活動場所の確保、個別リハビリの充実等、内容の見直しを行ってきました。

2021年度は活動機会を増やし、それを継続的に行えるよう取り組みます。また、創作活動にも力を入れ、作品を作る喜びを形に残し、ご家族や地域の方々とも共有できるよう作品展に参加致します。外出に関してのご要望も多く聞かれています。まだまだ感染症を気にせずとはいきませんが、終息が見えたときに、外出機会の提供に対応できるよう準備してまいります。

【入所支援係 年間計画】

4月	ユニット会議・身障協支援担当者会議
5月	身障協ゲーム交流会・菖蒲湯
6月	身障協スポーツ交流会・避難訓練
7月	七夕祭り・救命救急講習
8月	避難訓練
9月	みよしまつり花火鑑賞会・地震体験
10月	カラオケ大会・身障協外出交流レク ふれあいピック・文化芸術作品展・避難訓練
11月	身障協文化作品展・福祉まつり参加
12月	クリスマス会・大掃除・ゆず湯
1月	餅つき
2月	節分豆まき
3月	身障協ゲーム交流会 身障協サービス研究発表会・救命救急



健康支援係

2021年度健康支援係事業計画

1. 看護師育成の取り組み ⇒ 准看護学校卒業後の新人研修の実施。
2. 健康観察や生活リハビリを提供できる職員の育成 ⇒ アンケートを実施し評価。
3. 健康予防管理体制の構築 ⇒ 介護職と連携し認知症予防への取り組みを実施。

今回は褥瘡予防の取り組みについて紹介します。

①車いす用クッション

低～中等度リスクには厚みのある体圧分散型のウレタンや薄めジェルタイプを選択します。

高～褥瘡発生にはエアや厚めのジェルタイプを選択します。

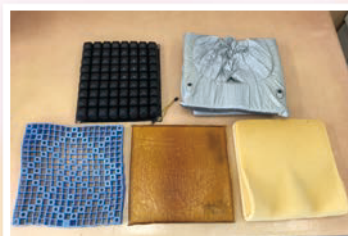
②マットレス

軽度～中等度リスクには7cmほどの厚みのある体圧分散型ウレタンマットを選択します。

高度～褥瘡発生にはエアマットを選択します。

かしの木が所有しておりますエアマットはむれ対策・ひえ対策やリハビリモードの設定により一時的にマットの圧を高めて寝返り等がしやすくなる機能がついております！

※2021年度も利用者の健康保持のためにより良いサービスを提供していきます。



【健康支援係 2021年度予定】

毎月	・個別リハビリ、創作リハビリ
毎月	・新人看護職員研修
隔月	・利用者体重測定(ユニット毎)
随時	・新人職員医療研修
随時	・登録研修機関(喀痰吸引等研修)
6月	・職員健康診断
6月・12月	・利用者健康診断
9月	・無料歯科相談
10月	・感染症対策(インフルエンザ予防接種等)



生活介護くろすでは、4つの柱である活動を充実させていきます。

- ①「いきいき活動」では、昨年度新型コロナウイルスの影響でイベントが軒並み中止になったので、今年度は、イベントだけでなく販路を開拓したり、製品の質の向上を目指していきます。
- ②「げんき活動」では、自主リハのスペースを有効に使うよう環境を整え、健康に関する情報を発信していきます。
- ③「にこやか活動」では、今年もにこやかファームで野菜やハーブを育て、試食したり、他の活動に活かしていきます。また、動の活動・静の活動を充実させていきます。
- ④「おふる」では、好評だったイベント浴を続けていきます。



午後の活動も月曜日「MT的活動」、火曜日「カラオケ」、水曜日「健康王国」、木曜日「にこやか活動」、金曜日「創作活動」、土曜日「個別活動」と今年度も日替わりのプログラムを行ってまいります。午前午後とも、利用者の皆さんにとって楽しい活動にしていきたく思います。

【年間予定】

毎月	・イベント入浴
5月より隔月	・集団活動
・地域のイベントに随時参加し販売	

のびる作業所も開所してから12年目を迎えました。

今年度は、生活介護事業において、よりご利用者のニーズにより応えられるよう、ニーズごとの活動をより充実させていきたいと思っています。将来就労を目指している方、日中活動として楽しみたい方等ニーズの多様化にお応えできるよう一層活動の充実化を図っていきます。それに伴い支援員はより高度な知識と技術を身に付け支援を行っていきたく思います。

就労移行支援、就労継続支援B型では、引き続きご利用者の一般就労へ向けた支援を行ってまいります。就労移行支援はより一般就労に対する支援に特化し、就労継続支援B型はより一般就労に必要な力をつける支援へと特化していきたくと思っています。

【年間スケジュール】

	就労	生活介護
4月		・花見
5月	・調理支援 ・交通安全教室	・交通安全教室 ・共同制作物作成
6月	・避難訓練、消火訓練	・避難訓練、消火訓練
7月	・調理支援 ・クリーニング工場見学会 ・健康診断	・七夕イベント
8月		・映画鑑賞会
9月	・調理支援	・誕生日会
10月	・交通安全教室・研修旅行	・交通安全教室・ハロウィンパーティー
11月	・調理支援 ・研修旅行	・秋の遠足・福祉まつりへ作品出展
12月	・避難訓練、消火訓練 ・大掃除	・避難訓練、消火訓練 ・クリスマス会 ・大掃除
1月	・調理支援	・新年会
2月	・施設外支援（食事会）	・誕生日会

今年度もご利用者がより豊かな生活が送れるよう、また望ましい生活に少しでも近づいていけるよう職員一丸となり支援をしていきたく思います。



グループホーム すてっぷ いっぽ

すてっぷ

4月	・グループ SST
5月	・グループ SST ・三者面談 ・交通安全教室 ・利用者企画行事
6月	・グループ SST ・三者面談
7月	・グループ SST ・映画鑑賞会 ・消防設備点検
8月	・グループ SST ・利用者企画行事 ・避難訓練出
9月	・グループ SST ・みよしまつり出店、慰労会
10月	・グループ SST
11月	・グループ SST ・利用者企画行事 ・避難訓練
12月	・グループ SST ・大掃除
1月	・グループ SST
2月	・グループ SST ・利用者企画行事
3月	・グループ SST
毎月	・GH 合同会議 ・ケース会議

2020年度は新型コロナの影響によりグループホーム内外での活動がほとんど出来ませんでした。特に、集まって行う SST（ソーシャルスキルトレーニング）や、外出を行う利用者企画行事などは特に感染予防を考慮し行えませんでした。特に毎年行っている利用者企画行事は、皆さんで立案、企画し日帰り旅行をおこなっており、皆さんとても楽しみにされている行事でもあるため、出来る方法を模索しながら今年度は実施できたと考えております。今年度も感染防止対策のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

外出や活動に制限がある中ではありますが、3月に避難訓練をおこないました。これは年に2回義務付けられているものであるため、入居者の皆さんに毎回ご協力いただいております。最近は事前の予告なく、抜き打ちでおこなわせていただいております。事前に訓練の予告をしてしまうと皆さん靴を持ってベランダでお待ちになってしまい訓練にならないためです。夕食後のくつろぎタイムにけたたましく鳴り

響く非常ベル。それを聞きマイペースで避難する人、耳をふさいで動けなくなってしまう人、不意打ちで少々キレ気味の人、人それぞれの反応がありますが、皆さん無事に避難できました。



いっぽ

日まじに春めいてくるこのごろ、お健やかに暮らすのことに存じます。グループホームいっぽでは、利用者の皆様と職員が一丸となって感染症対策に向き合っておりまして。

2回目の緊急事態宣言が発令されてからは、より一層に窮屈、退屈、疲労感が利用者の皆様より感じられるようになりましたが、天気の良い日に屋外駐車場でボール投げをしたり、浴室で支援者と距離をとり歌を歌ったり、普段は取らない中華料理の出前をリクエストで取ったりと日常に少しだけ変化を加えながら日々を過ごしております。

1日でも早く平穏な日常に戻る、戻せるように辛抱強く前に進んでいきますので、応援のほど宜しくお願い致します。

4月	・GH 合同会議
5月	・ごみゼロ ・グループ SST
6月	・避難訓練 ・消防設備点検 ・個別外出
7月	・おおいまつり ・グランドゴルフ大会 ・グループ SST
8月	・町内会議納涼祭 ・個別外出
9月	・ふじみ野市総合防災訓練 ・ふれあい秋季大会 ・バーベキュー ・グループ SST
10月	・ふれあいスポーツ大会 ・個別外出 ・市民フェスティバル
11月	・家族懇親会 ・グループ SST
12月	・ごみゼロ
1月	・グループ SST
2月	・三者面談 ・町内会防災訓練
3月	・三者面談 ・避難訓練 ・グループ SST

地域生活

サポートセンター らいと

地域生活サポートセンターらいとは、2019年4月に開所し、丸2年となりました。おかげさまで登録利用者数が120名を超えました。職員3人体制でスタートしましたが、今では登録ヘルパーさんも合わせて6名で支援しております。いつもご利用ありがとうございます。

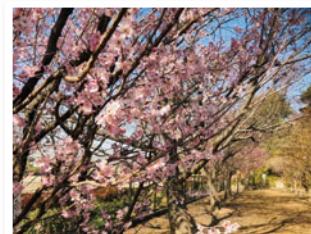
「らいと」という名前を知ってもらえる機会も増え、開所当時よりも最近の方が「らいとってどんな意味があるの?」と聞かれることが多いような気がします。ここで、一度「らいと」の意味を振り返ってみたいと思います。

「あなたらしい生活に光(らいと)を照らす」そんなサポートがしたい、そういう想いで立ち上げました。光(Light)の他にも、気軽に利用してほしいという意味を込めて軽い(Light)、正確(Right)な支援をするという意味もあります。

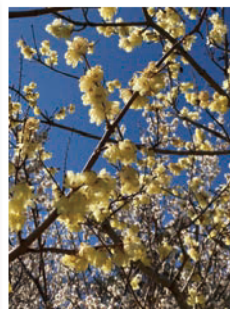
そして、ライフ+サポート=ライトということで、いろいろな意味を込めての「らいと」です。

これからも地域の皆さまのお手伝いが少しでも出来るように頑張っていきます!

写真は、外に出ることの多いヘルパーが撮った「春を感じた風景」です。



富士見市山崎公園付近



Yさんと移動支援で行った宝登山のロウバイ



どこか近隣



社会福祉法人めぐみ会 後援会

社会福祉法人めぐみ会后援会はおかげさまで3年目を迎えることができました。これまで多くの方々にご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。今後も多くの方にめぐみ会がおこなう地域福祉の活動を、後援会を通じて発信していきます。

●社会福祉法人めぐみ会后援会とは

社会福祉法人めぐみ会は障がいをお持ちの方が地域で暮らすことの支援をしています。地域福祉の担い手として、共に暮らしている隣人たちと考え、創り、社会福祉活動を推進しています。「後援会」はめぐみ会の運営や事業を支えるために活動します。

「後援会」では地域福祉と一緒にささえていただける方を募集しています。

●後援会の目的

めぐみ会の存在を多くの方に知ってもらいます

めぐみ会の存在を、広く地域の方々に知って頂くために、後援会を通じ、めぐみ会の概要や行事予定を、より安定的、定期的に関係者や地域にお知らせし、さらには地域の要望や様々なご意見を伺うことをおこないます。

利用者サービスの向上と社会福祉事業の安定をめざします

障がい者施策は、措置から契約へと転換し、3年ごとに見直しをされる報酬単価により法人経営は、大きく左右されます。福祉サービスを利用していただく方々の多様化するニーズの対応や事業安定に向けた支援をおこないます。

めぐみ会の活動をささえていきます

めぐみ会がおこなう福祉サービスを支える「支援組織」として活動します。

●後援会活動

広報誌の発行・会員間の交流・法人がおこなう事業への援助等

●後援会活動

*会員募集については別途ご案内いたします。



It's Spring



桜咲く



開花宣言!



ひな祭り



ひな祭り



Memories



フラワー
アレンジメント



節分



Happy Birthday



永年勤続表彰



めぐみ会 フォトストーリーズ on instagram



instagram

『めぐみ組』のおしらせ

めぐみ祭

祭

例年、開催しております「めぐみ祭」についてですが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み誠に勝手ながら2021年度開催につきましては、利用者様を中心とした開催とさせていただきます。開催を楽しみにされていた皆様にはお詫びを申し上げますとともに、ご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。

新型コロナウイルスが終息しましたら、一昨年同様の「めぐみ祭」を開催したいと考える所存ですので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

編集後記

令和3年度1回目のめぐみの森はいかがだったでしょうか？

今回の表紙は、めぐみ会20周年の記念樹の桜で飾らせていただきました。年々と桜の花もおおくなり桜らしくなってきました。桜といえば、川沿いや土手沿いにおおく咲いているイメージですが、これは今よりも整備の整っていなかった時代に「桜の木を植えれば人が集まり自然と地盤が固まる」といった理由から川沿いに植えられるようになったそうです。

今年は新型コロナウイルスの影響でお花見はできなかったという方も少なくはないと思います。いち早く新型コロナウイルスが終息することを願うばかりです。

法人本部・長谷川